

地域職域同窓会会議も紙面だけに!

●「緊急事態宣言」の中で!

昨日、浦高同窓会事務局から3月20日に予定されていた「第13回 地域職域同窓会責任者会議の中止」を知らせる通知とアンケートが届きました。この会議は全国に28ある浦高同窓会の地域や職場単位の会長や事務局長などが1年1回集まり、それぞれ同窓会の前年度の活動報告などを聞きながら情報交換を行い、相互交流を深める機会として12年間続いてきたものです。

私もこの会議に12年間連続で参加させていただき、「浦高百年の森」活動の大切さと素晴らしさを改めて知り、実際に百年の森で汗を流させていただいたことが春日部地区浦高会での周年活動に大きなヒントになりました。それが創立10周年記念事業の「春日部麗しの杜づくり」事業でした。

◆10周年「春日部麗しの杜づくり」

- 2010年～2013年 植栽活動(4回)
2.5m程度の中木合計75本を植栽
- 2011年～2019年 樹名板の取り付けや冬場の野鳥観察会等(10回)



※埼玉県みどりの埼玉づくり県民提案事業活用
※彩の国みどりのサポーターズクラブ事業活用

また、与野浦高会が隔年開催されている地域貢献活動で健康づくり講演やコンサートなどがヒントとなり、さらにウィーン在住の音楽家・富田千種さん(高19回)と先輩が経営されるヘンリー茶夢での素晴らしい出会いもあり、創立15周年記念事業の「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業に繋がりました。

◆15周年「音楽の都ウィーンからの贈り物」

- 2014年～2018年 富田千種氏(高19回)他出演によるコンサート(6回)、野田市役所ホールにてのミニコンサート(2回)
- 2015年～2019年 富田千種氏(高19回)による春日部市内中高生・一般市民を対象とした音楽指導(15回)



※春日部市地域力アップ補助金を3年間活用

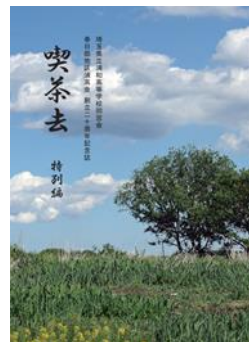
こうして振り返ると「地域職域同窓会責任者会議」は春日部地区浦高会の活動にとっては、とても刺激の多い機会であったと思います。

また他地域同窓会との交流では、久喜麗和会との合同での小旅行が生まれ、2013年には西部浦高会の西澤堅会長にお世話になり「川越の桜と歴史・文化を楽しむ」で川越市の歴史と文化を堪能させていただきました。2014年には古河麗和会の長島光治会長、遠藤達夫事務局長にお世話になり「桃の花咲く古河を味わう」で桃を堪能し、古河市の文化の深さを学ぶことができました。その後も2015年の「浦高百年の森と鉢形城の旅」と2016年「醤油のまち・野田/春の探索旅」、2017年の「久喜の春を楽しむ会」、2018年の「このとりの里・野田を訪ねる旅」、2019年の「地下神殿を巡る春日部初夏の旅」と久喜麗和会の皆様との交流が続いています。

一方、私たちの活動をPRさせていただいたことで、他の地域職域同窓会の活動に影響を与えることもあったようです。浦和麗和会では私たちの小旅行で「百年の森」や他地域職域(川越市、古河市)などを訪れて交流を図らせていただいたことをヒントに県内の小旅行が行われたり、大宮浦高会では地域貢献活動に力が入り、地元の資源を生かした講演会などが行われたりしています。湘南浦高会の平井隆一会長からは、暮れに行われる「鎌倉散策」のお案内をいただき、私たちの会から数名で参加させていただくなど嬉しい交流もありました。

さらに記念誌づくりでは、4回卒の星野和央さん(浦高同窓会会報『麗和』編集委員)、11回卒の鳥井隆一郎さん(春日部地区浦高会前副会長)などが、同期会の記念誌を作られていたことを参考にして、昨年、創立20周年記念事業の一つとして記念誌『喫茶去 特別編』を作成することができ、会員の皆さんに感謝です。

◆20周年記念誌『喫茶去(きささこ) 特別編』



• タイトルは、当会でこれまで20年にわたり綴ってきた会報で、当会にお越しくくださった皆様に一碗の茶、一献のお酒とともに私たちのお話で楽しんで頂きたいという気持ちです。

• 背景の写真は会員の大島齋礼さん(高2回)から提供いただいた写真で「埼玉県と千葉県の

境を流れる江戸川の堤下から雲を狙って撮りました。雲の美しさを感じて頂ければ幸いです」とも。

• 中身は、20年間の歩みを振り返る「座談会」、30名の会員からの浦中・浦高時代の思い出、半世紀を振り返って、春日部地区浦高会と歩んだ20年などさまざまなテーマの寄稿を収録しました。

コロナ禍でも、地道な活動を続けましょう!